読書の家から

新刊案内

■あぶた読書の家

＜一　般＞▽死に支度（瀬戸内寂聴）▽埋れた牙（堂場舜一）▽大原御幸（林真理子）▽アンブラッセ（阿刀田高）▽レオナルドの扉（真保裕一）▽金魚姫（荻原　浩）▽オールド・テロリスト（村上　龍）▽樹海（鈴木光司）▽若冲（澤田瞳子）▽侵入者（折原　一）▽十字路が見える（北方謙三）▽サーカスの夜に（小川　糸）▽トットひとり（黒柳徹子）▽一人っ子同盟（重松　清）

＜児童書＞▽知っていますか？日本の戦争（久保田貢）▽バケモノの子読み聞かせ絵本（細田　学）

■みずうみ読書の家

＜一　般＞▽さわらびの譜（葉室　麟）▽お家さん＜上・下＞（玉岡かおる）▽サラの鍵（タチアナ・ド・ロネ）▽そして、星の輝く夜がくる（真山　仁）▽モナドの領域（筒井康隆）▽安曇野のナチュラリスト・田淵行男（近藤信行）▽ユートピア（湊かなえ）▽寮生（今野　敏）▽日本の古典に学びしなやかに生きる（加賀乙彦）▽冬の光（篠田節子）▽父と子の旅路（小杉健治）▽店仕舞い（佐伯泰英）▽義貞の旗（安部龍太郎）▽教場（長岡弘樹）▽光のない海（白石一文）▽終わりの感覚（ジュリアン・バーンズ）▽人魚の眠る家（東野圭吾）

■洞爺総合センター図書室

＜一　般＞▽大世界史（池上彰／佐藤　優）▽日本海軍はなぜ過ったか　海軍反省会四〇〇時間の証言より（澤地久枝／半藤一利／戸高一成）▽新しい道徳　いいことをすると気持ちがいいのはなぜか（北野　武）

＜児童書＞▽だいすきなサンタさんへ（キャスリン・ホワイト　文　ポロナ・ラブシン　絵　ゆりよう子　訳）▽たからものみつけた！（くすのきしげのり　作　重森千佳　絵）

ピノキオ読み聞かせの会

■日　時　3月7日（月）
14時30分～

■場　所　あぶた読書の家

●開館時間
10時～16時20分まで

●2月休館日
11日・18日・25日・3月3日・10日
（毎週木曜日・祝祭日休館）

あぶた ☎76-2100
みずうみ ☎75-4702

今月の1冊

「ふゆめがっしょうだん」

写真　富成忠夫
　　茂木　透
文　長新　太

冬の公園や雑木林での木の芽の冬の姿が実にユニークで、ウサギさんやコアラ君、お馬さんの顔に見えたり……。

これからの季節おもしろい木の芽に出会いに野山を歩いて見てはどうでしょう？

わたしのうた

短　歌

【あぶた短歌会】　一月定例会

またひとつ重なる齢にとまどいて
　うれしさぶしの初春（はる）になりにし　大西　芳子

つつがなく暮せることの幸せが
　身にいたきまでしみとうるなり　山木　孝

正月も終りて子や孫帰りたり
　ひと日の流れゆるゆると行く　北島　加代

目覚むれば部屋の小窓に光さし
　雪のひとひら蝶舞ふごとし　太田　智

短歌（うた）友ら集ひ食事を楽しみて
　新たな年に話はつきぬ　元田フジ子

俳　句

【あぷた俳句会】　一月定例会

海を背に寒九の坂へ砂を撒く　菅原　敏子

寒肥の人の排泄つち肥える　小笠原　勇

クリスマスポインセチアを買っておく　三瓶　修

鯛焼の温もりのままバスの中　千葉　征子

初写真芯に米寿の夫笑まふ　矢野　知子

千両や葉がくれに見る色うれし　那須　伶子

空に生る風花海へ染みて消ゆ　佐藤　美風